

新年あけましておめでとうございます。

見えないウイルスに世界中が翻弄された一年が明けました。

今年こそは安全で平和の年になりますよう、皆様の笑顔が広がる一年であります事をお祈りいたします。

2021年、令和3年の干支は辛丑（かのと・うし）になります。

「辛」は十干の8番目に位置し、季節でいえば秋の終わり頃、植物なら枯れた状態であり、実は地面に落ち、次世代のタネを大地に還す途中とも考えられます。

一方「丑」は発芽直前の曲がった芽が種子の硬い殻を破ろうとしている状態で、命の芽吹きを表しています。

「辛丑」は、「相生」の関係といわれ、緩やかな衰退、痛みを伴う幕引きと、新たな命の息吹が互いを生かし合い、強め合うことを意味します。

日本代協 金子会長の年頭所感を讀後、引用させていただきますと、  
昨年はコロナで始まり、まだそのまま終わらない一年でした。元々時代の大きな潮流として流れていたデジタルの進化をコロナが急速に加速し、社会を変えた一年でした。

私たち代理店の世界でも、これまでの対面の価値だけでなく、今後はオンライン面談や、リアルとオンラインの併用という「新たな様式の対面」の価値を高めていく必要があり、お客さまのニーズに応じて、お客様本位を実現することが重要であり、成果は武器にもなると考えます。

一方で、保険代理業の本質は、お客様へのリスク・マネジメント業であると考えますと、手段であるデジタル化の前に、お客様にとって自社が果たす価値を考えることが重要であるとされています。

この引用からも、「辛」で思い悩みながらも「丑」で新しい生命の息吹があり、その際マイナスが大きければ大きいほどプラスも大きくなる。加えて、焦らず慎重に自社の取組みを進めることが重要であると感じております。

これまで会員代理店の皆様が地域に貢献されてきた活動とともに、石川県代協として、皆様のご発展を願い、情報発信していく所存ですので、本年も皆様のご理解とご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。